

本会議質問から

第4回定例会では、9人の議員が個人質問を行いました。質問順に主な質問事項は次のとおりです。なお、質問の詳細は熊本市議会ホームページの会議録等をご覧ください。

公明党



藤岡 照代 議員

質問 1 **本市活性化の為、交流人口増加と企業誘致を**
アジア太平洋都市サミット主催都市として、本市の活性化の為、MICE を推進し国際会議や企業誘致の促進を。

答弁 サミット開催の経験を活かし、積極的に MICE 誘致に取り組むと共に企業誘致や地場企業の振興を図りながら、本市の活性化に努める。

質問 2 **高齢者の生きがいと創造の事業継続について**
本講座は生きがいと交流の場であり、心身の健康に寄与する事業の廃止は社会のあるべき姿に逆行するのでは。

答弁 趣味が多様化する中、特定講座を無料で行うのは、公平性を欠くため来年度から実施しない。施設・陶芸窯の利活用はできる限り対応する。



共産党



那須 円 議員

質問 1 **高齢者生きがい作業所の存続について**
利用者の声に応え生きがい作業所を存続するとともに、冷暖房設置など施設の充実を図るべきではないか。

答弁 高齢化の中、生きがいづくりの重要性は更に増しているが、作業所の現状を踏まえ見直すもの。陶芸窯の利活用はできる限り対応する。



質問 2 **MICE 整備の是非について住民投票の実施を**
300億円超の MICE 施設整備は市民一世帯当たり10万円の大事業。住民投票を実施し是非を問うべきではないか。

答弁 MICE 施設整備基本計画素案については、年明けにパブリックコメント（※1）、オープンハウス（※2）を実施するなど機会を捉えて意見を伺う所存。

用語解説

※1 パブリックコメント 公的な機関が規則などを制定しようとするときに、広く公に意見・改善案などを求める手続をいう。
※2 オープンハウス パネルの展示や資料の配布により、事業や進め方に関する情報を提供する場。参加者は担当の職員に対して質問することができ、アンケート等によって意見を述べることもできる。

自民党



高本 一臣 議員

質問 1 **人口維持に向けた取り組み、企業誘致の促進**
若者が仕事に就ける環境を整える為の企業誘致対策として、民間オフィス建設を誘導する対策をとってはどうか。

答弁 オフィス系企業の誘致を尚一層推進していくためには、オフィスビルの供給につながるような誘導策の検討も必要と考えている。

質問 2 **小学校のフッ化物洗口（※3）事業の推進について**
普及モデル事業は取り組みの姿勢が甘く、思う様に進んでないが原因は何か。課題と今後の進め方をどうするのか。

答弁 学校現場の負担増や安全性への不安等の課題解消に努め、関係部局と協議し、モデル校の拡大や支援策等、新たな制度設計を検討する。



用語解説

※3 フッ化物洗口 一定濃度のフッ化ナトリウム溶液を用いて、1分間うがいを行う方法で、永久歯のむし歯予防手段として有効。

くまもと未来



田中 敦朗 議員

質問 1 **選挙開票事務について**
開票に当たっての事前指導と、注意の徹底をすべき。併任辞令を出し、自らの仕事という自覚を持たせて欲しい。

答弁 所属長からの指導と開票管理者より徹底を行う。併任辞令の発令は選挙事務に対する職員の意識改革のための手段として検討したい。



質問 2 **北熊本スマートインターチェンジ（※4）について**
今の進捗状況では、平成27年度中の供用開始が難しいと考えるが、現状の報告と今後の展開はどうなるか。

答弁 地権者一人ひとりに事業の必要性を粘り強く説明し、代替地の斡旋や地域の発展に繋がる提案も行い鋭意努力していく。

用語解説

※4 スマートインターチェンジ 高速道路のサービスエリア、パーキングエリア、バスストップ等から乗り降りができるように設置されている ETC 限定のインターチェンジ。

市民連合



田辺 正信 議員

質問 1 **熊本市民病院に緩和ケア病棟（※5）の創設を**
熊本市民病院の建て替えに際して、病院の将来を見据え、緩和ケア病棟を創設すべきだと考えるが如何か。

答弁 新病院に緩和ケア病棟の創設は困難であるが、今後も地域の医療機関と連携を図り、療養環境充実に向け緩和ケア医療の研究を行う。



市民病院 完成予定図

質問 2 **国史跡のお蔵周辺一帯を歴史公園に**
国の史跡のお蔵・船着き場、川尻奉行所・お茶跡、川尻公会堂までの一帯を歴史公園としての整備を。

答弁 「熊本藩川尻米蔵跡」をはじめとする国指定の史跡や周辺の建物などを活かした歴史的な趣のあるまちづくりに取り組んでいきたい。

用語解説

※5 緩和ケア病棟 主にがん等の痛みや、それ以外に吐き気、食欲不振、不眠、息苦しさ、心の辛さなどが少しでも緩和されるように支援する病棟。

市政クラブ



落水 清弘 議員

質問 1 **人口減少社会を踏まえて、市債の抑制を！**
2000年の地方分権一括法に基づく、自立した財政運営の為、各種市債（借金）の抑制をすべきではないか。

答弁 行財政改革の推進等により可能な限り市債の発行を抑制、確固たる財政基盤を構築し持続可能な市政運営の実現を目指していく。



質問 2 **議会基本条例及び議会白書の市長の見解は？**
会津若松市の市民からの公聴を重要視した議会基本条例や議会の「見える化」推進の議会白書についての見解は？

答弁 住民自治の実現に向けて様々な議会改革の取り組みが、議会において論議され進められることが重要であると考えている。

公明党



浜田 大介 議員

質問 1 **高齢者の見守りについて**
今後、住民自ら運営するなどして、身近な場所に高齢者が気軽に相談できる場所を設ける必要があるのでは。

答弁 高齢者が相談できる場所を住民自ら運営することは、高齢者の安心に繋がると考えており、このような相談や調整等は積極的に対応する。



質問 2 **建設専門工事技術者の育成について**
若年技術者の育成に向けての、南熊本と花園にある働きながら通える2つの職業訓練校の今後の方向性は。

答弁 両施設は、あり方も含め、見直しが必要ではないかと考えており、今後、機能統合も視野に入れ、関係者とともに検討していきたい。

自民党



寺本 義勝 議員

質問 1 **生きがいと創造の事業（作業所）について**
関係者の皆さんと丁寧な協議を重ねたうえで利用者の活動が継続できるように取り組んでいただけないか。

答弁 生きがい作業所や陶芸窯の利活用の検討にあたっては、OB 会を中心に多くの方々の意見を伺い、できる限り反映させるべく努力する。



質問 2 **市文化協会設立と合併町協会支援について**
市文化協会設立の必要性和県協会への補助のあり方及び合併町文化協会への支援についてどう考えているか。

答弁 今後、文化協会のあり方と県協会への補助金について検証を行うとともに区のまちづくり予算の活用などの支援を検討する。